

本園活動テーマ「自然環境を大切にできる心を育む」

- 具体的活動
- ① 資源回収に係わる活動
 - ② 再生資源を使った遊びに係わる教育
 - ③ 環境・資源に係わる教育



① 資源回収に係わる活動

本園では、通常家庭で破棄されてしまうようなトイレトペーパーの芯や牛乳パック、空き箱、プラスチックカップ等を、園入口の回収箱で回収し、遊びの素材として利用している。回収箱は、中身が見える半透明のプラスチックボックスに種類別の写真をつけて設置しているため、保護者だけでなく子どもたち自身も分別している。最近では隣接している小・中学校でもトイレトペーパー芯を届けてくれたり、卒園児の保護者の皆さんや近隣住民の方も牛乳パックや空き箱等を届けてくれたりと回収に協力してくださっている。



② 再生資源を使った遊びに係わる教育

本園では、資源回収で集まった素材を必要に応じて洗浄・消毒し、子どもたちの日々の工作に自由に使える素材として提供している。子どもたちはトイレトペーパーの芯や牛乳パック、空き箱等を使って、乗り物や生き物、遊びに必要なもの等を作って遊ぶことを通して、「素材さえあれば、作りたいものを作ることができる」という経験を重ねている。また、物品購入の際に梱包材としてついてくる大きな段ボールは、迷路の仕切りや、子どもが作るお家のドアや壁としても利用することができ、再生資源を有効に使った遊びで、子どもたちの想像力、創造力も育むことにつなげている。



③ 環境・資源に係わる学習

子どもたちは、資源回収で集めた素材で乗り物や生き物等の作品を作り、家に持ち帰っている。そして、家での遊びで使わなくなった乗り物や生き物等の作品は、子どもと保護者が話をする中で解体して元の資源に戻し、もう一度遊びの素材として使えるように幼稚園の回収箱に提供し、再生資源として生かそうとする姿が見られる。

また年長児は、毎年市の環境課の方をお招きし、アニメや〇×クイズ等を織り交ぜた「リサイクル」についてのお話を聞くことで、環境・資源を大切にしようとする気持ちを育んでいる。

